

北海道大学 大学院文学研究院 概要
文学院・文学部

Faculty of Humanities and Human Sciences,
Graduate School of Humanities and Human Sciences
and
School of Humanities and Human Sciences
2023



北海道大学大学院文学研究院・文学院・文学部
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
電話（直通） 011-726-7728 / FAX 011-706-4803
Eメール wwwadmin@let.hokudai.ac.jp
ホームページ <https://www.let.hokudai.ac.jp/>

目次

1	沿革	2～5
2	歴代学部長・研究院（科）長	6～7
3	組織運営	8
4	研究室の主な研究分野	9～10
5	職員数	11
	1 職員数	
	2 職員配置	
6	学生数	12～14
	1 学部学生	
	2 大学院学生	
	3 研究生・聴講生・科目等履修生・特別研究学生・特別聴講学生	
	4 外国人留学生	
7	図書	15
	1 蔵書冊数及び雑誌種類	
	2 年間受入数	
8	土地及び建物面積	15

1. 沿革

- 昭和 22 年 4 月 法文学部が設置され、哲学科 7 講座（哲学概論・哲学史、西洋哲学史(1)、西洋哲学史(2)、倫理学・倫理学史、心理学・教育学(1)、社会学・宗教学、社会学・宗教学)、史学科 2 講座（国史学、東洋史学）、文学科 3 講座（文学及西洋文学(1)、国文学(1)、東洋文学）、法律学科 5 講座（憲法学、行政法学、民法学(1)、民法学(2)、社会法学）、政治学科 1 講座（政治学・政治史）、経済学科 2 講座（社会政策、経済学）の計 20 講座が置かれた。
- 昭和 22 年 10 月 北海道帝国大学は北海道大学と改称された。
- 昭和 23 年 9 月 法文学部の哲学科に 1 講座（東洋哲学史(1)）、史学科に 2 講座（国史学(2)、西洋史学）、法律学科に 5 講座、経済学科に 2 講座が増設された。
- 昭和 24 年 6 月 法文学部の哲学科に 2 講座（東洋哲学史(2)、心理学・教育学(2)）、史学科に 1 講座（史学）、文学科に 2 講座（西洋文学(2)、西洋文学(3)）、法律学科に 2 講座、経済学科に 1 講座が増設された。
- 昭和 25 年 4 月 法文学部が文学部と法経学部に分離される。文学部には、哲学科 10 講座（西哲第一、中哲、印哲、西哲第二、西哲第三、倫理、心理第一、心理第二、社会、宗教）、史学科に 5 講座（史学概論、日本史第一、日本史第二、東洋史、西洋史）、文学科に 5 講座（英米、国文、中文、独文、露文）の計 20 講座が置かれた。
- 昭和 28 年 4 月 文学研究科が設置された。
- 昭和 28 年 5 月 文学研究科に哲学専攻（博士課程・修士課程）、東洋哲学専攻（博士課程・修士課程）、心理学専攻（博士課程・修士課程）、社会学専攻（修士課程）、史学専攻（博士課程・修士課程）、英米文学専攻（博士課程・修士課程）及び国文学専攻（博士課程・修士課程）の合計 7 専攻が置かれた。
- 昭和 30 年 8 月 文学研究科に社会学専攻（博士課程）、国史学専攻（博士課程・修士課程）、東洋史学専攻（博士課程・修士課程）及び西洋史学専攻（博士課程・修士課程）が置かれた。
- 昭和 30 年 8 月 文学研究科に置かれていた史学専攻（博士課程・修士課程）が廃止された。
- 昭和 32 年 3 月 文学科に言語学講座が増設された。
- 昭和 37 年 3 月 史学科に史学 1 講座が増設された。
- 昭和 39 年 7 月 ユーラシア文化研究室が設置された。

- 昭和 40 年 4 月 文学科に国語学講座が設置された。
- 昭和 40 年 6 月 大学院文学研究科に独文学専攻（修士課程）及び中国文学専攻（修士課程）が設置された。
- 昭和 41 年 4 月 附属北方文化研究施設が設置され、考古学部門が置かれた。ユーラシア文化研究室及び北海道大学北方文化研究室（昭和 12 年 10 月設置）が廃止された。
- 昭和 41 年 9 月 附属北方文化研究施設二風谷分室として、イギリスから旧マンロー邸（土地 19、371 m²、建物 304 m²）の寄贈を受けた。
- 昭和 42 年 1 月 大学院文学研究科に独文学専攻（博士課程）及び中国文学専攻（博士課程）が設置された。
- 昭和 42 年 4 月 文学科イギリス文学講座を英米文学講座に、ドイツ文学講座を独文学講座に、ロシア文学講座をロシア文学講座にそれぞれ名称変更された。
- 昭和 42 年 11 月 教室・研究棟 4,694 m²の新築工事が落成した。
- 昭和 43 年 6 月 文学科に英語学講座が増設された。
- 昭和 44 年 3 月 大学院文学研究科に言語学専攻（修士課程）が設置された。
- 昭和 44 年 3 月 研究棟 350 m²の増築工事及び管理棟 616 m²の新築工事が落成した。
- 昭和 44 年 5 月 文学科に独語学講座が増設された。
- 昭和 46 年 6 月 大学院文学研究科に言語学専攻（博士課程）が設置された。
- 昭和 48 年 3 月 実験動物舎 83 m²の新築工事が落成した。
- 昭和 48 年 4 月 附属北方文化研究施設に文化人類学部門が増設された。
- 昭和 49 年 12 月 附属北方文化研究施設分室建築用地として、斜里町郷土研究会から土地 661 m²が寄贈された。
- 昭和 51 年 3 月 附属北方文化研究施設斜里分室 126 m²の新築工事が落成した。
- 昭和 52 年 3 月 実験動物舎 67 m²の増築工事が落成した。

- 昭和 52 年 4 月 哲学科の実験心理学第 1 講座、実験心理学第 2 講座及び社会学講座が廃止されて行動科学科が設置され、認知情報学講座、比較行動学講座及び社会行動学講座が新設された。
- 昭和 53 年 4 月 行動科学科に動態社会学講座及び数理行動学講座が増設された。
- 昭和 53 年 11 月 研究棟（E 棟）1,321 m²及び研究棟 351 m²の増築工事が落成した。
- 昭和 54 年 3 月 行動科学科に社会生態学講座が増設された。
- 昭和 55 年 4 月 行動科学科に社会心理学講座が増設された。
- 昭和 56 年 4 月 共通講座として基礎文化論講座が設置された。
- 昭和 57 年 4 月 大学院文学研究科心理学専攻及び社会学専攻を改組し、行動科学専攻（修士課程）が設置された。
- 昭和 59 年 4 月 大学院文学研究科に行動科学専攻（博士課程）が設置された。
- 昭和 61 年 4 月 共通講座として総合文化論講座が設置された。
- 昭和 63 年 4 月 共通講座として人間行動学講座が設置された。
- 昭和 63 年 11 月 研究棟 783 m²の増築工事が落成した。
実験動物舎の移転に伴い、渡り廊下 12 m²の減及び渡り廊下 36 m²の増となった。
- 平成 4 年 4 月 文学科にロシア語文化論講座が新設された。
- 平成 5 年 4 月 文学科に中国語文化論講座が新設された。
- 平成 6 年 2 月 研究棟図書資料室 118 m²の増築工事が落成した。
- 平成 7 年 4 月 従来の哲学科、史学科、文学科及び行動学科の 4 学科を改組し、人文科学科の 1 学科に統合するとともに、既存の全講座と附属北方文化研究施設を哲学、倫理学、文化価値論、日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史文化論、北方文化論、言語情報学、日本文化論、中国文化論、西洋言語学、西洋文学、心理システム科学、行動システム科学、社会システム科学及び地域システム科学の 17 大講座に改編された。
- 平成 7 年 4 月 本学の一般教育を含む学部教育を充実させるため、「学部一貫教育」体制へ移行された。これに伴い、入学者選抜方法も、従来の「系・課程」別の募集形態から「学部」別に変更された。

- 平成 12 年 4 月 大学院重点化が認められ、大学院文学研究科は、思想文化学専攻（哲学講座、倫理学講座、文化価値論講座）、歴史地域文化学専攻（日本史学講座、東洋史学講座、西洋史学講座、歴史文化論講座、日本文化論講座、中国文化論講座、北方文化論講座、スラブ社会文化論講座（協力講座））、言語文学専攻（西洋言語学講座、西洋文学講座、言語情報学講座）及び人間システム科学専攻（心理システム科学講座、行動システム科学講座、社会システム科学講座、地域システム科学講座）の 4 専攻 17 講座 1 協力講座による大学院講座制に移行した。
- 平成 15 年 1 月 人文・社会科学総合教育研究棟の新築工事が落成した(工事引渡日)。
- 平成 16 年 4 月 大学院文学研究科「思想文化学専攻」の「文化価値論講座」の名称を「宗教学インド哲学講座」に変更し、「芸術学講座」が新設された。
- 平成 17 年 4 月 大学院文学研究科「歴史地域文化学専攻」の「日本文化論講座」「中国文化論講座」が「言語文学専攻」へ移行し、「言語文学専攻」に「映像・表現文化論講座」が新設された。
- 平成 19 年 2 月 大学院文学研究科に「応用倫理研究教育センター」が設置された。
- 平成 19 年 4 月 大学院文学研究科に「北方研究教育センター」が設置された。
- 平成 20 年 3 月 研究棟の耐震補強及び改修工事が落成した。
- 平成 27 年 1 月 研究棟（E 棟）の耐震補強及び改修工事が落成した。
- 平成 30 年 4 月 応用倫理研究教育センターが応用倫理・応用哲学研究教育センターに名称変更された。
- 平成 31 年 4 月 大学院文学研究科を改組し、「大学院文学研究院」及び「文学院」が設置された。従来の大学院 4 専攻 20 講座が、文学院は、人文学専攻（哲学宗教学講座、歴史学講座、文化多様性論講座、表現文化論講座、言語科学講座、スラブ・ユーラシア学講座、アイヌ・先住民学講座）、人間科学専攻（心理学講座、行動科学講座、社会学講座、地域科学講座）の 2 専攻 11 講座 20 研究室に再編され、文学研究院は、人文学部門（哲学宗教学分野、歴史学分野、文化多様性論分野、表現文化論分野、言語科学分野）、人間科学部門（心理学分野、行動科学分野、社会学分野、地域科学分野）の 2 部門 9 分野 18 研究室に再編された。併せて文学部人文科学科の履修コースが 9 コースから 4 コースに再編された。

2. 歴代学部長・研究院（科）長

法文学部長

昭和 22. 6. 9～25. 3.31 伊 藤 吉之助

文学部長

昭和 25. 4. 1～26. 7.30 伊 藤 吉之助
26. 7.31～29. 7.31 武 田 信 一
29. 8.91～32. 1.31 柏 倉 俊 三
32. 2.91～33. 5.31 武 田 信 一
33. 6.91～35. 5.31 中 川 秀 恭
35. 6. 1～38. 5.21 須 田 豊太郎
38. 5.22～38.12.19 杉野目 晴 貞（事務取扱）
38.12.20～39.12.18 金 子 武 蔵
39.12.19～42.12.18 阿 部 武 彦
42.12.19～44.12.18 野 田 壽 雄
44.12.19～46. 7.31 小 栗 浩（事務取扱）
46. 8. 1～48. 3.31 鳥 山 成 人（事務取扱）
48. 4. 1～49. 3.31 梅 岡 義 貴（事務取扱）
49. 4. 1～50. 3.31 梅 岡 義 貴
50. 4. 1～53. 3.31 塩 谷 饒
53. 4. 1～55. 3.31 永 井 秀 夫
55. 4. 1～57. 3.31 花 田 圭 介
57. 4. 1～59. 3.31 藤 田 宏 達
59. 4. 1～61. 3.31 宇都宮 芳 明
61. 4. 1～63. 3.31 田 中 彰
63. 4. 1～平2.3.31 高 島 稔
平成 2. 4. 1～4. 3.31 大 島 正 二
4. 4. 1～6. 3.31 青 柳 謙 二
6. 4. 1～8. 3.31 今 西 順 吉
8. 4. 1～10. 3.31 灰 谷 慶 三
10. 4. 1～12. 3.31 北 原 敦

文学研究科長

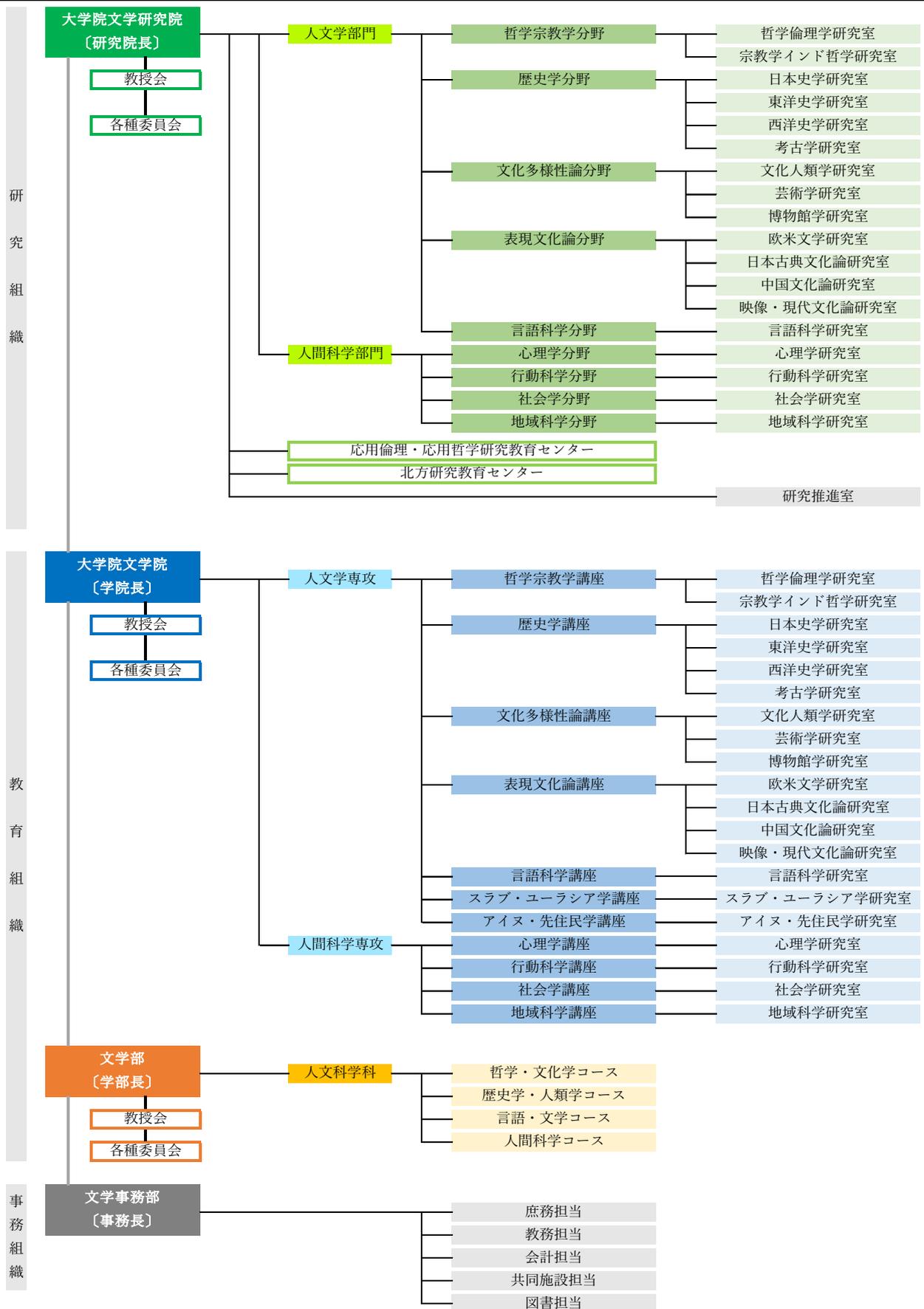
平成 12. 4. 1～14. 3.31 瀧 川 哲 夫
14. 4. 1～16. 3.31 身 崎 壽
16. 4. 1～18. 3.31 新 田 孝 彦
18. 4. 1～20. 3.31 栗生澤 猛 夫
20. 4. 1～22. 3.31 望 月 恒 子
22. 4. 1～26. 3.31 沖 和 順

26.4.1～28.3.31 白木沢 旭 兎
28.4.1～31.3.31 山 本 文 彦

文学研究院長

平成 31.4.1～令2.3.31 山 本 文 彦
令和 2.4.1～ 藤 田 健

3. 組織運営



4. 研究室の主な研究分野

研究室名	研究分野
哲学倫理学研究室	○古代ギリシア・ローマ哲学 ○論理学、論理の哲学 ○分析哲学（言語哲学、心の哲学、行為の哲学、認識論など） ○西洋近代倫理学 ○規範倫理学、メタ倫理学、分析実存主義 ○応用倫理学（科学技術倫理、生命倫理、環境倫理、AI倫理など） ○近現代ドイツ哲学 ○近現代フランス哲学 ○イギリス経験論 ○現象学 ○近代日本哲学 ○神経哲学 ○社会思想史
宗教学インド哲学研究室	○宗教学、死生学、ドイツ宗教思想史 ○宗教史学、キリスト教学、新約学 ○仏教学、仏教史学 ○インド哲学、インド哲学史
日本史学研究室	○日本古代史 ○日本中世史 ○日本近世史 ○日本近代史 ○日本現代史 ○日本近現代思想史、植民地朝鮮文化史
東洋史学研究室	○中国前近代史 ○中国近現代史 ○東アジア史 ○西アジア史 ○中東イスラーム史
西洋史学研究室	○古代ローマ史 ○ドイツ中世・近世史 ○イギリス近現代史 ○近代フランス史 ○アメリカ史
考古学研究室	○考古学 ○物質文化論 ○民俗誌考古学 ○植物考古学 ○動物考古学 ○文化財科学 ○年代測定 ○同位体分析
文化人類学研究室	○文化人類学 ○自然－人間関係 ○生命論 ○平和研究 ○脱植民地化 ○エスノグラフィー論 ○人と動物 ○人と植物 ○生態人類学 ○北米先 住民研究 ○サーミ研究 ○北欧研究 ○美術・工芸 ○舞踊 ○身体 ○アフェクト
芸術学研究室	○美学・芸術学（含む芸術諸学） ○西洋美術史 ○現代美術史 ○美的文化論
博物館学研究室	○博物館学（動物園・水族館、博物館人類学を含む） ○動物に関する歴史・文化
欧米文学研究室	○西洋古典文献学 ○古代キリスト教の歴史と文学 ○フランス文学・思想 ○アメリカ文学 ○英米英語圏文学、ジェンダー・セクシュアリティ論 ○イギリス文学、シェイクスピア劇、物語理論 ○ロシア文学、ポーランド文学、比較文学
日本古典文化論研究室	○上代文学 ○中古文学 ○中世文学 ○近世文学 ○日本文学史
中国文化論研究室	○中国思想 ○日本漢学 ○中国芸術 ○中国語学 ○中国文学 ○中国文化史
映像・現代文化論研究室	○映像論、表象文化論、映画学、日本映画論、海外映画論 ○日本文学（近代・現代）、日本文化（近代・現代）、 日本思想（近代・現代）

言語科学研究室	<p>○ゲルマン語類型論、ドイツ語学、北欧語学、オランダ語・フリジア語学</p> <p>○英語学、認知言語学 ○フランス語学、ロマンス語学、生成文法</p> <p>○ロシア語学、スラブ語学 ○日本語学、言語学 ○国語学、文献学、歴史言語学 ○アイヌ語、北方言語 ○統語論、語用論、言語理論 ○韓国朝鮮語、音韻論、アクセント論</p>
スラブ・ユーラシア学研究室	<p>○ロシア帝国史、ソ連史、シベリア極東史 ○ロシア文学・文化</p> <p>○ロシア・旧ソ連諸国政治 ○ロシア・旧ソ連諸国経済</p> <p>○日ロ関係、ユーラシア国際関係 ○中央アジア・コーカサス近現代史</p> <p>○旧ソ連諸民族・諸宗教研究 ○東欧政治経済・国際関係</p> <p>○スラブ語学、バルカン言語学</p>
アイヌ・先住民学研究室	<p>○アイヌ宗教文化、アイヌ語、口承文芸</p> <p>○口承文芸論、アイヌ語、ニヴフ語</p> <p>○アイヌ史、北東アジア史、日本古代史</p> <p>○アイヌ物質文化、文化人類学、博物館学</p> <p>○先住民考古学、文化遺産論、シベリア考古学 ○先住民法学、憲法学</p> <p>○文化人類学、オートエスノグラフィー論、先住民フェミニズム</p>
心理学研究室	<p><専門領域></p> <p>○認知心理学、基礎心理学、実験心理学、認知科学、認知神経科学</p> <p><各テーマ例></p> <p>○感覚、知覚、イメージ、記憶、学習、注意、運動、言語、思考、意思決定、音楽、発達、感情、コミュニケーションなどの諸心理過程や産業応用</p>
行動科学研究室	<p><専門領域></p> <p>○社会心理学、進化心理学、文化心理学、環境心理学、計量行動学、神経行動経済学、比較認知科学</p> <p><各テーマ例></p> <p>○マイクロ・マクロ理論、社会的交換、集団力学、意思決定、環境行動、社会的ジレンマ、比較文化、公正、ゲーム理論、感情、異種間コミュニケーション、協力行動、リスク・ガバナンス、量子認知AI</p>
社会学研究室	<p>○宗教・文化社会学、東アジア宗教文化論、タイ地域研究</p> <p>○教育社会学、社会調査法 ○計量社会学、ソーシャル・キャピタル論</p> <p>○家族社会学 ○都市社会学 ○リスク社会学、ウェルビーイング ○福祉社会学 ○医療社会学 ○社会運動論 ○社会意識論 ○ナショナリズム研究 ○価値観研究</p>
地域科学研究室	<p>○地域社会学、環境社会学、開発社会学、ポリティカルエコロジー</p> <p>○人文地理学、都市地理学、農村地理学、経済地理学、観光学、地域づくり論、社会地理学 ○地理情報科学、GIS研究</p> <p>○保全生態学、野生動物管理学、外来種管理研究 ○ヒトと動物の関係論、環境教育 ○北米・東南アジア・オセアニア・シベリア・極東地域研究</p>

5. 職員数

1 職員数

(令和5年5月1日現在)

教授	准教授	講師	助教	事務職員	URA	合計
58(5)	26(2)	3	12(5)	18	2	119(12)

※正規職員及び特任教員のみ計上。()内は特任教員・内数

2 職員配置

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	事務職員	URA	合 計
哲学倫理学研究室	3	4(1)		1			8(1)
宗教学インド哲学研究室	3(1)	1					4(1)
日本史学研究室	5		1				6
東洋史学研究室	2	1					3
西洋史学研究室	5(1)		1				6(1)
考古学研究室	2(1)	1					3(1)
文化人類学研究室	1	2		1			4
芸術学研究室	2	2(1)					4(1)
博物館学研究室	1(1)	1		1(1)			3(2)
欧米文学研究室	4	1		1			6
日本古典文化論研究室	2	2					4
中国文化論研究室	3						3
映像・現代文化論研究室	5	1		1(1)			7(1)
言語科学研究室	6(1)	2					8(1)
心理学研究室	3	2		3(1)			8(1)
行動科学研究室	4	2		1			7
社会学研究室	2	2	1	1			6
地域科学研究室	4	2		1(1)			7(1)
応用倫理・応用哲学研究教育センター							
北方研究教育センター							
教養深化プログラム				1(1)			1(1)
研究院長付	1						1
研究推進室					1	2	3
事務部					17		17
合 計	58(5)	26(2)	3	12(5)	18	2	119(12)

※文学研究院所属の正規教員及び特任教員、文学事務部の正規職員のみ計上。()内は特任教員・内数

6. 学 生 数

1 学部学生

(令和5年5月1日現在)

学科名	入学定員	所属	現員				合計
			1年次	2年次	3年次	4年次	
人文科学科	-	哲学・文化学コース		30(12)	35(13)	43(16)	108(41)
		歴史学・人類学コース		46(15)	43(14)	68(24)	157(53)
		言語・文学コース		55(25)	54(27)	49(28)	158(80)
		人間システム科学コース 人間科学コース(注1)		59(28)	64(28)	72(30)	195(86)
		日本文化論コース				1	1
		アジア・アラブ文化論コース					
		ヨーロッパ・アメリカ文化論コース					
		北方文化論コース					
		総合文化論コース					
合計	-			190(80)	196(82)	233(98)	619(260)

※入学定員は当該年度の1年次入学定員

※ () 内は女子の内数

(注1) 人間システム科学コースは、2019年度から人間科学コースに改組

2 大学院学生

文学研究科 ※～2018 年度入学生

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

専攻名	修士課程				博士後期課程				備考	
	入学 定員	現員			入学 定員	現員				
		1 年次	2 年次	合計		1 年次	2 年次	3 年次		合計
思想文化学	—				—			4	4	
歴史地域文化学	—				—			9(3)	9(3)	
言語文学	—				—			12(9)	12(9)	
人間システム科学	—				—			8(3)	8(3)	
合計	—				—			33(15)	33(15)	

※入学定員は当該年度の 1 年次入学定員

※ () 内は女子の内数

文学院 ※2019 年度入学生～

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

専攻名	修士課程				博士後期課程				備考	
	入学 定員	現員			入学 定員	現員				
		1 年次	2 年次	合計		1 年次	2 年次	3 年次		合計
人文学	71	79(44)	104(55)	183(99)	28	34(17)	32(17)	52(24)	118(58)	
人間科学	19	24(17)	22(12)	46(29)	7	6(2)	8(1)	18(8)	32(11)	
合計	90	103(61)	126(67)	229(128)	35	40(19)	40(18)	70(32)	150(69)	

※入学定員は当該年度の 1 年次入学定員

※ () 内は女子の内数

3 研究生・聴講生・科目等履修生・特別研究学生・特別聴講学生

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

区 分	文学部	文学研究科	文学院	文学研究院	合 計
研 究 生	27(17)			9(6)	36(23)
聴 講 生	9(5)		3(1)		12(6)
科目等履修生	6(1)		2		8(1)
特別研究学生			4(1)		4(1)
特別聴講学生	19(10)		3(3)		22(13)
合 計	61(33)		12(5)	9(6)	82(44)

※ () 内は女子の内数

4 外国人留学生

(令和5年5月1日現在)

国名	学部学生	大学院生		研究生	特別研究学生	特別聴講学生	合計
		修士課程	博士後期課程				
アメリカ合衆国			3(1)	1(1)			4(2)
ウクライナ			1(1)				1(1)
オーストラリア					1		1
カナダ	1	1					2
コロンビア				1(1)			1(1)
シリア		1(1)					1(1)
スペイン			1				1
セルビア		1(1)					1(1)
タジキスタン				1			1
トルコ			1(1)				1(1)
フィンランド			2(1)				2(1)
フランス			1(1)				1(1)
ブラジル	2(1)						2(1)
ロシア		2(1)	5(3)	1(1)			8(5)
台湾	1(1)	3(3)	6(6)		1		11(10)
大韓民国			4(3)			6	10(3)
中華人民共和国	1(1)	80(52)	51(29)	21(15)	2(1)	14(11)	169(109)
合計	5(3)	88(58)	75(46)	25(18)	4(1)	20(11)	217(137)

※ () 内は女子の内数

7. 図 書

1 蔵書冊数及び雑誌種類

(令和5年3月31日現在)

蔵書(冊)			雑誌(種類)		
和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
102,694	46,990	149,684	2,014	699	2,713

2 年間受入数

(令和4年度)

蔵書(冊)			雑誌(種類)		
和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
3,021	1,159	4,180	683	162	845

8. 土地及び建物面積

(令和5年4月1日現在)

区分	土地	建物(※)	備考
文学研究院	7,933 m ²	11,866 m ²	
二風谷研究室	15,087 m ²	270 m ²	
斜里研究室	661 m ²	126 m ²	
合計	23,681 m ²	12,295 m ²	

※延べ面積